水野中学校学校だより

Blue Sky

第129号　令和７年6月2日発行

「学校行事は、培った力を発揮する場」

瀬戸市立水野中学校長　松岡　辰也

一学期の半ばを過ぎ、体育祭、修学旅行、野外活動、校外学習と学校行事が次々と続いています。幸いにも天候に恵まれ、いずれの行事も充実しています。学校外での行事前には、生徒たちに「日頃の学校生活で培ってきた力を公共の場という舞台で発揮する活動のひとつです」と話をします。

日頃、集団で生活する中で、どんな力を培っているのか、あげればきりがありませんが、生徒たちには、分かりやすく身近なことを意識させています。例えば、誰もが健康で安全に過ごすこと、時間を守って行動すること、あいさつや感謝の気持ちをもち、周りの人のことを考えた行動を心がけるなど、校外でも実践できることが、行事の成果につながっていきます。今回、３年生の修学旅行では、その成果があらゆるところで発揮されていると感じました。

今年の修学旅行は、３年ぶりに関西方面を訪れました。その目的の一つには、大阪で開催される５５年ぶりの万博を見学・体験することでした。実際、自分の目で見たり、体験したりしてみると、世界の国々の文化や歴史など異文化にふれあうことができる貴重な学びの場であると実感しました。また、最先端の技術を見て、ふれることは、未来を生きる子どもたちには、大きな道標になったのではないかとも感じました。

一方で、短期間で開催される万博では、安全上の問題や暑熱対策、食事等の費用など、さまざまな課題があげられていました。実際に訪れる前には、すべての行事と同様に複数名の教員で下見を行い、安全上の問題を中心に確認を進めました。

当日、開幕からひと月余りが経った万博には、早朝から多くの方々が訪れていましたが、学校団体は優先的に入場ができ、スムーズに会場に入ることができました。入場後すぐに目に飛び込んできたのは、ギネス記録にも認定された「大屋根リング」、その大きさは近づくほど、柱一本一本の太さに圧倒されました。大屋根リングから見渡す景色はすばらしいうえ、リングの下を歩くと、海風が吹き抜けて、涼しさを感じるほどでした。入場後、生徒たちはグループごとに、目的のパビリオンを目指しました。

午前中は、計画していたパビリオンへの入場が順調にできたようでした。午後からはほとんどのパビリオンで行列ができていましたが、４～５のパビリオンの見学ができたと聞きました。昼食をとったフードコートは、ほとんど待つことなく食事をとることができ、学生は割引もあり、適正な価格で昼食をとることができました。また、至る所に設けられた給水場や休憩所も並ぶことは、ほとんどありませんでした。楽しい時間は、あっという間に過ぎましたが、集合時間には全員が時間を守って集まり、安全に過ごすことができた大阪万博でした。

３日間の行程を終えようとした帰りのバスでは、瀬戸の町並みが見えてくると生徒たちから「修学旅行が終わっちゃう、帰りたくない」という声が聞こえてきました。名残惜しい気持ちは、楽しく充実した３日間を過ごした証だと感じました。

体育祭　5月13日

昨年度に引き続き、1学期に実施した体育祭、3年生の入試日程が大幅に前倒しとなり、近年の気候変動も伴い9月に練習を行うにあたっては、気温が高く熱中症が心配されることから、開催時期を1学期としました。

時期をずらした中でも、天気予報は夏日の予想となりました。控え席には、小学校から借用したテントを合わせて、全クラスの控え席にテントを張ることができました。それもあり、生徒たちは競技に全力で臨むことができました。

今年は、体育の授業を中心に練習を重ねてきましたが、十分な時間は確保できませんでした。それでもクラスで協力して休み時間に集まって練習する姿が見られました。クラス全員でバトンをつなぐ「大リレー」は、学年があがるにつれ、流れるようにバトンがつながっていきました。大縄跳びは、跳んでいる生徒だけではなく、応援している生徒からも「1・2・3・・・」と大きな声援があり、跳んでいる生徒たちを後押ししていました。とてもすてきな姿でした。

環境整備活動　ありがとうございました

5月17日（土）、あいにくの雨となりましたが、環境整備活動には、PTA と地域から総勢30名を超える方々に参加していただきました。在校生や卒業生が一緒に参加してくれたこともうれしい限りです。

今回は屋外での除草作業はできませんでしたが、夏を迎える前に、教室のエアコンフィルターやエアコン内の清掃などを手際よく、丁寧に行っていただきました。わずか1時間30分ほどの活動でしたが、これから暑さが厳しい時期にフル稼働するエアコンが、とてもきれいになりました。

ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

農業体験から学ぶ　　～A組　田植え～

A組の生徒たちは、5月30日に本校PTAOBの方の田んぼをお借りして、田植えを行いました。3年生は今年で3回目、1年生は、初めて田植えをする生徒がほとんどでした。

現在、社会的な問題となっている米の価格高騰の問題、私たちの主食となっている米は、食卓はもちろんのこと、学校給食でも日常的に提供されています。それが、今は米の不足から価格が高騰し、大きな社会問題となっています。

一方で飲食店では米が残され、捨てられることも少なくありません。それは、学校給食でも同様な状況がみられます。

米作りに携わる生産者は、米づくりの労力を体験から学ぶことで、米の大切さだけに限らず、食生活の重要性を学んでほしいと口にされます。義務教育の今だからこそ、こうした体験学習の意義は大きいと感じて、毎年続けています。農業体験を通して、もう一度、私たちの主食であるお米について考えていけることを願っています。今年度もお世話になりますが、よろしくお願いいたします。